

クラウドファンディングは  
お陰様で目標額を越え、1,218,000円集まりました。  
ありがとうございました。

西方音楽館基金（一般財団法人西方芸術振興財団預かり）  
2021年9月～2022年3月末日まで（累計1,200,000円 7件）  
友の会コンサートへ 50,000円（2件）  
楽器置き場・エントランス増築 140,000円（3件）  
用途を問わない 1,010,000円（2件）  
基金へのご寄付も、ありがとうございました。

## ♪ [ 西方音楽館友の会主催コンサート ] ♪

2022年

- 第94回コンサート  
J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全曲演奏会シリーズ第1回  
6月18日（土）11:30～ & 15:30～  
廣海史帆：バロックヴァイオリン 中川岳：チェンバロ
- 第95回コンサート  
J.S. バッハ：ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全曲演奏会シリーズ第2回  
8月21日（日）15:30～（11:30～追加公演を行う場合もございます）  
廣海史帆：バロックヴァイオリン 中川岳：チェンバロ
- 第96回コンサート バッハ＝躍るいのち  
9月17日（土）14:30～プレトーク 15:30～ コンサート  
武久源造：ジルバーマンピアノ & 岩佐樹里：バロックダンス
- 第97回コンサート 久元祐子 モーツァルト ピアノソナタ全曲演奏会シリーズ 最終回  
10月15日（土）14:30～
- 第98回コンサート『優しき玩具』田部井辰雄&小川和隆ギター・ジョイントコンサート  
11月12日（土）14:30～
- 第99回コンサート G.Ph. テレマン/バリ四重奏曲集 vol.1  
12月18日（日）14:30～  
古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」  
小野万里：バロックヴァイオリン 国枝俊太郎：フラウト・トラヴェルソ 高橋弘治：5弦チェロ・ピッコロ  
岡田龍之介：チェンバロ

2023年

- 第100回コンサート!!!  
ベートーヴェン チェロとピアノのための初期作品 vol.1《モーツァルトへのオマージュ》  
2月11日（土）14:30～  
高橋弘治：チェロ、荒川智美：フォルテピアノ
- 第101回コンサート「笛の旅」  
2月26日（日）14:30～  
国枝俊太郎：リコーダー&フラウト・トラヴェルソ  
岡田龍之介：チェンバロ
- ◆親子のための音楽会 各回11:00～11:45  
2022年6月12日（日）、8月11日（祝・木）、10月10日（祝・月）、  
11月3日（祝・木）、2023年1月9日（祝・月）、2月23日（祝・木）

## [ 西方音楽館主催 ]

木洩れ陽音楽談話室第41回 2023年1月29日（日）14:30～  
クラリネットで奏でる名曲の数々  
中新井諒子：クラリネット 大島菜保子：ピアノ  
（2020年6月27日新型コロナウイルスのため中止となった企画）

## 西方音楽館友の会会員募集

会員を倍増し、赤字を無くしたく、ご協力よろしくお願いたします!!!

西方音楽館友の会会員募集（毎年4月が更新の時期です）  
A会員：（3,000円）24名 B会員：（10,000円）39名（合計63名 462,000円）（2022年5月11日現在会費をご納入の方）  
ご寄付 28,000円  
それぞれコンサートへの特典があります。西方音楽館友の会主催コンサートは、会員の会費で支えられています。

西方音楽館友の会運営委員：中新井紀子（西方音楽館館長）、岡田龍之介（チェンバロ奏者）、小川和隆（ギタリスト）、木下大輔（作曲家）  
高田良久（医師、下野楽遊代表）、中新井諒子（国立音大卒、クラリネット）、永田美穂（音楽学）、山村多恵子（オカリナ奏者）



2022. 6. 木洩れ陽の窓から No. 27

西方音楽館友の会会報

編集・発行人 中新井紀子

西方音楽館

322-0601  
栃木県栃木市西方町金崎342-1 TEL 0282-92-2815 E-mail info@wmusic.jp Web http://wmusic.jp

# 西方音楽館 春の花と音楽祭

中新井紀子

「脳内で美を認知する領域と、倫理的な正しさを判断する領域は、ほとんど一緒・・・」、  
「アートは自分たちの認知を美しい方、正しい方へと持っていくための仕組みになる可能性があるのではないか・・・」（僧侶：伊藤東凌）と、ネット上で見つけました。さらに、凶悪犯罪を犯す人は、この部分の発達が悪いらしい。しかし訓練によって、後天的に開拓することも可能であるらしいとも。

会報前号（26号）巻頭文からの続きとなりますが、前号で「美意識や感性は、人間が判断を行う際に、重要な役割を果たすらしい。」と記しましたが、それだけではなく、もう1歩踏み込んで、倫理的判断にも寄与するのかもしれない。

今年の春は、伸びるに任せた草が、ちょうど音楽祭に合わせたかのようにたくさんの花を咲かせました。紫大根、たんぽぽ、オーニソガラム等々。それに加えて桜の花、プラムの白い花、幾種類もの椿の花、水仙も同時期に花開き、庭は様々な花が描く色とりどりのキャンパスの様でした。

一面黄色いたんぽぽ畑は、その後ふわふわ真ん丸頭が可愛い綿毛となり、微かな風に揺れる綿毛の群生は、メルヘンチックな世界を創り出していました。貧乏草と呼ばれているハルジオンも、群生するととてもきれいでした。軽井沢みたい！ピーターラビットの世界ですね！と、おっしゃる方もいらっしゃいました。ほとんど手入れをしない庭。伸び放題の草が限界に近くなってきたところで、近所の方が刈ってくださるので、かろうじて野原というより庭であることを保っていられるのですが、幸い、除草剤のお世話にならずに済んでいますので、青々とした草もまた美しいです。

春の音楽祭の時期、庭では美しい花、木洩れ陽ホールでは美しい音楽、という具合に、自然においても、人間が創り出す芸術においても、美しさを堪能できる西方音楽館は、美的感性を磨く場として、さらに倫理的判断力を養うことに寄与出来るかもしれない場として、社会に大いに貢献できる所でもあるようです。

西方音楽館の庭は、春の花が咲き乱れる、ちょうど西方音楽祭の頃が一番美しいです。ぜひ来年の第8回西方音楽祭、聴きにいらしてください。

## こ・ぼ・れ・話

音楽、そして花、  
美しいものに触れると、  
心の向きは、  
悪い方ではなく、  
良い方に向かうはず・・・。

中新井紀子